

2012年  
安全報告書



大山観光電鉄株式会社

## 目 次

§ 1. 経営責任者からのメッセージ	1
§ 2. 安全基本方針等	2
§ 3. 安全重点施策	2
§ 4. 安全管理体制と方法	3
§ 5. 事故等の状況と再発防止措置	5～6
1. 鉄道運転事故等	
2. 災害（地震や暴風雨、豪雪など）	
3. 輸送障害（30分以上の遅延や運休）	
4. インシデント（事故の兆候）	
§ 6. 行政指導等に対する措置の状況	6
§ 7. 安全確保のための措置	6～8
1. 鉄道テロ発災対応型異常時総合訓練	
2. 教育訓練状況	
3. 設備投資状況	
§ 8. 利用者等とのコミュニケーション	8～9

## § 1. 経営責任者からのメッセージ

本報告書は、鉄道事業法第19条の4に基づき、安全輸送に対する当社の取組みや実態について真摯にお伝えし、ご利用くださいますお客様へ幅広くご理解いただくために作成するものです。

当社は、小田急グループの一員としてグループ経営理念『お客様の【かけがえのない時間】と【ゆたかなくらし】の実現に貢献します』に基づき関係法令を遵守し、輸送の安全を第一とした良質なサービス提供に邁進しているところであります。

更に加えて、企業活動を通じて社会に貢献するとともに社会から信頼される顧客第一主義をモットーに、企業の果たす社会的責任をまっとうするため倫理法令遵守を社員一人ひとり理解し「報告・連絡・相談」の迅速な対応をとっているところでございます。

2011年度は、1977年10月1日より2011年9月30日の間34年間連続10期運転無事故を達成し監督官庁よりの表彰を頂く事ができました。

お客様お一人の満足を得るために・・・・・・・・

今後も、お客様からの貴重な声をより一層の「輸送の安全」に役立てたく、ご意見、ご助言を賜りますよう改めてお願い申し上げます。



大山観光電鉄株式会社  
取締役社長 堀 康紀

## § 2. 安全基本方針等

### 【1】 当社の安全基本方針

- (1) 輸送の使命は安全輸送であるとの認識に立ち、全ての事業に優先する
- (2) 施設・車両等の整備は、万端怠りなく実施し、安全の確保に努める

### 【2】 当社の安全行動規範

- (1) 輸送の安全に関する状況については、常に把握し理解するよう努める
- (2) 情報は透明性を確保し、漏れなく迅速、正確に伝える
- (3) 常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦する

### 【3】 安全目標

2011年度の安全目標は【あらゆるリスクをマネジメントし安全を達成しよう】とし、“列車運転事故ゼロ”を永遠のテーマとしてリスク管理を果たしてこの一年間取り組んでまいりました。

## § 3. 安全重点施策

### 【1】 2011年度の安全重点施策

#### (1) 取組みと実績

##### ① 車両設備改良

1965年製造の車両車体の腐食した部分の改修を実施し、車体構造の信頼性向上を図りました。



車体補修

##### ② 巻上施設ブレーキドラム更新工事

巻上機械で車両を確実に制動するため、常用ブレーキならびに非常用ブレーキのドラムを更新いたしました。



ブレーキドラム更新

##### ③ 沿線法面樹木伐採

樹木の根張り等による石積み崩壊や倒木を防ぐため沿線樹木の伐採を実施いたしました。

#### ④ 構造物調査

ア. 線路構造物（橋脚、橋桁、道床、法面、駅舎、ホーム、運転機械室建屋、e t c）の敷設状況を調査し、安全性向上施策の素地といたしました。

イ. 大山ケーブル駅の駅舎耐震補強調査とそれに基づく改良工事を行い、耐震度を向上いたしました。



構造物調査

#### ⑤ 施設の改良

従来、大山ケーブル駅お客様トイレは男女共用でありましたが、爽やかにご利用いただけますよう分離しまして、サービスを向上いたしました。



お客様トイレ

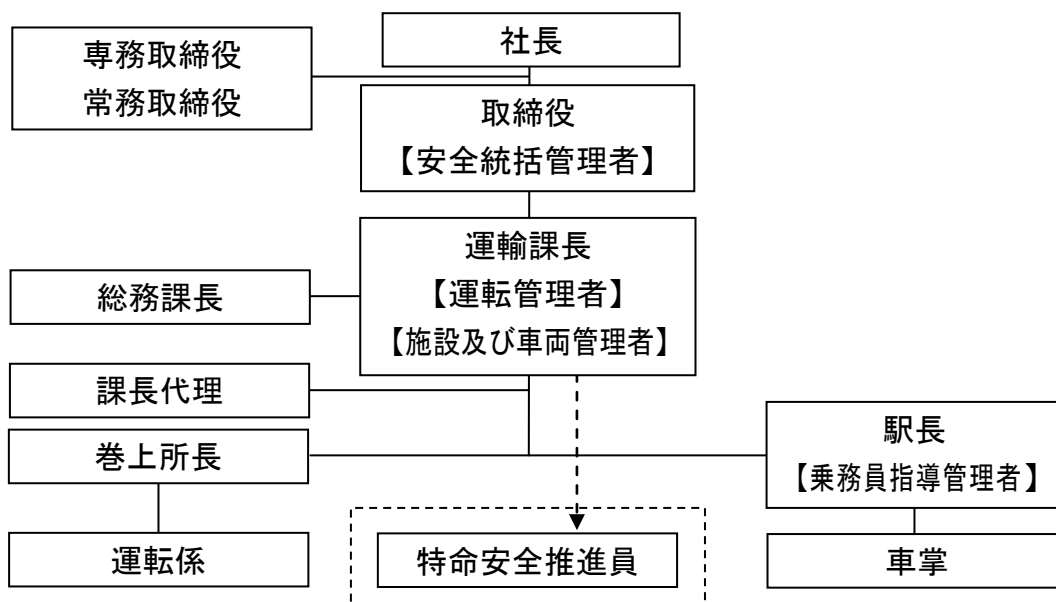
### 【2】2012年度の安全重点施策の取組み

- (1) 索条（ケーブルカー接続ロープ）更新工事
- (2) 大山寺駅落石防護柵設置工事

## § 4. 安全管理体制と方法

### 【1】安全管理体制

当社は、以下の安全管理体制の下、各々の役割に応じた機能を発揮することでお客様の輸送の安全を確保いたしております。



役 職	役 割
社 長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負います。
取締役 【安全統括管理者】	鉄道施設、車両、運転取り扱いの安全性及び相互の部門間の整合性を確保するとともに、安全確保を最優先し輸送業務の実施及び各管理部門を統括管理いたします。
運輸課長 【運転管理者】 【施設及び車両管理者】	安全統括管理者の指揮の下、運行計画の設定及び変更、乗務員の運用、列車の運行の管理、運転係及び乗務員の育成並びに資質の保持その他運転に関する業務を管理するほか、施設及び車両の維持管理に関する事項を統括いたします。
駅 長 【乗務員指導管理者】	運転管理者の指揮の下、駅務・車掌の資質の維持に関する事項を管理いたします。
巻上所長	運転管理者の指揮の下、運転の資質、ならびに施設の維持に関する事項を管理いたします。
特命安全推進員	運転管理者の特命下において、運転係員の基本動作の点検結果の報告と指導を行います。

## 【2】安全管理方法

### (1) 安全マネジメント体制

2011年度から安全マネジメント体制として新たに委員会を設置し、監督官庁よりの情報発出はもとより安全輸送に関わる事項の審議取り纏めから対策を講ずるなど展開を図ってまいりました。輸送障害等の対応については【特別安全マネジメント委員会】をあらゆる職制から招請し、多面的な分析と対策の協議を行うなど全社一体の取り組みを果し、その成果が着実に末端までに浸透するよう安全管理に反映させてまいりました。

また、運転管理者の直轄下で【特命安全推進員】を任命し“基本動作の遵守と励行”を確実に果すよう機能化をはかり、一人ひとりが**基本動作の重要性を認識**した現状へと変革してまいりました。

### (2) 安全文化の醸成

安全マネジメント体制の確立のため2011年度より、ヒヤリハット情報の収集のための教育を実施いたしました。現時点におきましては、ヒヤリハットの提出が少なく、その浸透が行き届いていないものと判断します。

2012年度スタートと共に、ヒヤリハットの重要性和KYMの重要性を再認識した安全文化を醸成する指導と展開に取り組んでまいります。



### 【3】経営責任者の現業巡視

経営責任者である社長は、定例的に現業巡視はもとより年度当初のコミットメントで基本方針を発信し、末端までの浸透活動を行っております。また、事故等の発生の際は現場での陣頭指揮するなど企業の果たす社会的責任を全うすべく対処しております。



現業巡視

## § 5. 事故等の状況と再発防止措置

### 【1】鉄道運転事故等

2011年度、鉄道運転事故等の発生は、0件でございます。

### 【2】災害（地震や暴風雨、豪雪など）

2011年度、自然災害に伴う事故等の発生はございません。

### 【3】輸送障害（30分以上の遅延や運休）

(1) 台風15号接近に伴う輸送障害として1件（運休11本）発生

(2) 運転係員による運転保安装置速度超過進入に伴う輸送障害1件（運休8本）発生

本事象の発生後ただちに特別安全マネジメント委員会を開催するなど、原因分析と安全対策を導き出し議決事項を敢行するほか、特命安全推進員を指名し徹底した基本動作の遵守状況を点検、指導のうえ【安全の確保は、輸送の生命である】【規程の遵守は、安全の基礎である】【執務の厳正は、安全の要件である】ことを認識した運転取扱いを果すよう取組んでいる状況です。

(3) 車両故障に伴う輸送障害1件（運休362本）発生



本事象は、運行開始以来の47年有余の間、潜在的要因を抱えていた車両の車体支えバネ装置（1車両28箇所実装）の一箇所において取付位置が不適正であったことから、局所的な荷重が掛かり続け金属破断が発生したものであります。この潜在的な要因分析と究明ならびに部品調達におきまして15日間の運休を要したもので、他の類似品の55箇所（車両2両分）に関しましても一斉更新し、より安全・安心ならびに安定した運行に資するよう取組みいたしました。

#### 【4】インシデント（事故の兆候）

一件の発生もございませんでした。

### § 6. 行政指導等に対する措置の状況

2011年度における監督官庁である国土交通省からの行政指導はございません。

### § 7. 安全確保のための措置

#### 【1】鉄道テロ発災対応型異常時総合訓練

【大山鋼索線 沿線で爆発物のため乗客被災】の想定のもと、伊勢原警察署、伊勢原市消防本部と当社の三者合同訓練を実施し、経営責任者を始めとした本社員及び現業員が参加し、鉄道テロ発災対応型異常時総合訓練を実施いたしました。

官専門官よりの不審物取扱に関する指摘をいただき、今後の対応に生かす意義深い訓練となりました。

今後も、官の協力を得て監督官庁が要請する異常時対応の質の向上へとまい進してまいります。



救出搬送



救出

#### 【2】教育訓練状況

##### (1) 社内教育

- ① 運輸安全マネジメント制度とヒューマンエラー（安全人間工学）
- ② 事故処置訓練 地震発生時の扱い、停電時の扱い等々
- ③ 落石警報装置動作訓練
- ④ コンプライアンス&リスクマネジメント 公益通報者保護法
- ⑤ 他、年間教育訓練計画に基づき実施



(2) 社外研修

- ① リスク管理 国土交通省本省
- ② 関東鋼索協会見学会 御岳登山鉄道

(3) 外部講師要請

- ① 鉄道事業継続に関わる安全確保 元国鉄職員

(4) 設備導入教育

- ① 自動ブレーキ緩解装置取扱

(5) 教育の主たる実績と反映

① 社内教育

2011年度の安全目標に則した「運輸安全マネジメント制度」ならびに「ヒューマンエラー(安全人間工学)」について、その制度と発生のメカニズムを指導いたしました。

ヒューマンエラー防止の特効薬はない……。このため、ヒヤリハット体験報告に関してもコンプライアンス&リスクマネジメントの一環で指導しましたが輸送障害の抑止効果を得られず、改めて教育の質の重要性を再認識いたしました。今年度は、誰しものが考え参画する教育体系ならびに人材育成体系へと修正し取り組んでまいることとしました。

② 外部研修

国土交通省 本省で開催されました「リスク管理」に参加し、その研修内容を改めて社内教育で全社員へ周知・反映いたしました。今年度も、監督官庁での講習計画を注視し研修を受講して、一層の安全マネジメントの充実へと反映したいと考えております。



リスク管理社内教育

③ 設備導入教育

労働安全衛生規則に基づき取扱手順等の教育を行い、誰しものが安全、適切な取扱が出来るよう実施いたしました。



設備導入教育

### 【3】設備投資状況

#### (1) 車体支えバネ装置更新

ケーブルカーに実装してある車体支えバネ装置を一新し、信頼性の向上と乗り心地の改良を図りました。



車体支えバネ装置更新

#### (2) 自動ブレーキ緩解装置更新

ケーブルカーに実装してある自動ブレーキ装置が動作した後、運行再開が迅速に出来るよう同装置を更新いたしました。



ブレーキ緩解装置更新工事

## § 8. 利用者等とのコミュニケーション

### 【1】関係機関との協働

当社は、大山へお出でいただくお客様が楽しんでいただき、癒しのひと時をお過ごしになれますよう万全な運行体制で臨んでおります。万一の場合には、市消防本部との【救急救助活動の連携に関する覚書】に基づき、業務支援体制を整え救助活動の支援運行を果すよう取り組んでおります。

### 【2】利用者等からの意見・要望

当社を利用いただくお客様からの意見・要望に関しては、関係各社との協働により大山へお出でいただくお客様からの率直な意見を聴取し、駅構内施設の改良等へと反映いたしました。

### 【3】利用者等への要望・啓発

当社の置かれた立地環境は、急傾斜地区に存在することから【公共交通移動等円滑化基準省令】に適合しないことからバリアフリー化が整備されておりません。各駅プラットホームの一部に柵の設置はあるものの、転落防止設備を施設していないことから、多客時には整列乗車等のご協力のご案内をお願いしているところでございます。今後も、プラットホームからの転落の防止のための駅係員の案内にご協力いただきますようお願い申し上げます。

#### 【4】従業員との対話

企業の果たす社会的責任を履行するため、社員教育の一環においてコンプライアンスに準ずる公益通報者保護法を周知したうえで、経営責任者の現業巡視の際、従業員よりの意見聴取を行っております。

#### 【5】その他

本報告書に関わるご意見、ご感想やご要望など下記の連絡先にお寄せくださいませ。

大山観光電鉄株式会社 〒259-1107 神奈川県伊勢原市大山667番地	
本社	TEL：0463-95-2135 FAX：0463-95-2482 E-Mail：ooyama-cable@plum.ocn.ne.jp 平日 9：00～17：00
大山ケーブル駅	TEL/FAX：0463-95-2040 平日 9：00～16：30 土日祝祭日 9：00～17：00